託送収支計算書等
（令和７年度決算）

仙 台 市 ガ ス 局

様式第１　（第３条関係）

託　送　収　支　計　算　書

事業者名　　仙台市ガス局

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

（単位：千円）

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	8,174,137	営業収益	8,807,999
供給販売費	7,287,315	託送供給収益	0
労務費	1,402,458	自社託送収益	8,807,999
諸経費		事業者間精算収益	******
修繕費	1,454,886	最終保障供給収益	0
消耗品費	59,198	その他託送供給関連収益	0
賃借料	138,952	（補償料等収入）	0
租税課金	679,154		
固定資産除却費	25,241		
需給調整費	125,578		
その他経費	926,529		
減価償却費	2,475,318		
一般管理費	790,559		
一般管理	790,559		
託送供給関連部門特定費	96,263		
最終保障供給費用	0		
営業利益	633,862		
営業外費用	177,834	営業外収益	136,142
資金調達	170,059	資金運用	4,030
雑支出等	1,007	雑収入	131,862
その他	6,768	その他	250
特別損失	937	特別利益	14,539
税引前託送供給関連部門当期純利益	605,771		
法人税等	0		
託送供給関連部門当期純利益	605,771		

（注）「事業者間精算収益」は、ガス事業託送供給収支計算規則第9条に規定する
「公表方法の特例」により、「自社託送収益」に含めて記載しております。

（託送収益明細表）

（単位：千㎥、千円、円／㎥）

	託送供給量	託送収益	単価
託送供給収益	0	0	－
自社託送収益	258,503	8,807,999	34.07
事業者間精算収益	*********	*********	*****
最終保障供給収益		0	
その他託送供給関連収益		0	
託送収益合計	258,503	8,807,999	

（注）「事業者間精算収益」は、ガス事業託送供給収支計算規則第9条に規定する
「公表方法の特例」により、「自社託送収益」に含めて記載しております。

様式第２（第４条関係）

託　送　資　産　明　細　書

事業者名　　仙台市ガス局

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

（単位：千円）

項　　目	金　　額
建設仮勘定	752,013
設備勘定(有形)	33,581,226
無形固定資産	575,764
長期前払費用	192
運転資本	705,322
繰延資産	0
託送資産合計	35,614,517

（注）期首期末平均額を用いて算定している。

（一般ガス導管事業者：本支管投資額実績表）

（単位：千円）

項目	直近実績					５年平均額
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
主要導管	0	0	0	0	0	0
本支管（主要導管以外）	1,759,176	2,027,681	2,415,764	2,878,314	3,041,330	2,424,453
計	1,759,176	2,027,681	2,415,764	2,878,314	3,041,330	2,424,453

様式第３（第５条関係）
第１表

超　過　利　潤　計　算　書

事業者名　　仙台市ガス局

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

（単位：千円）

項　目	金額
税引前託送供給関連部門当期純利益（又は税引前託送供給関連部門当期純損失）（①）	605,771
託送供給関連部門の営業外費用（その他に限る。）（②）	6,768
託送供給関連部門の営業外収益（雑収入を除く。）（③）	4,280
託送供給関連部門の特別損益（④）	13,601
その他調整額（⑤＝⑥＋⑦）	0
補償料等収入（⑥）	0
最終保障供給取引損益（⑦）	0
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益（又は調整後税引前託送供給関連部門当期純損失）（⑧＝①＋②－③－④－⑤）	594,658
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益に係る法人税等（⑨）	0
調整後託送供給関連部門当期純利益（又は調整後託送供給関連部門当期純損失）（⑩＝⑧－⑨）	594,658
託送供給関連部門事業報酬額（⑪）	1,217,031
減少事業報酬額（⑫）	0
託送供給関連部門の営業外費用（資金調達に限る。）（⑬）	170,059
当期超過利潤額（又は当期欠損額）（⑭＝⑩－⑪＋⑫＋⑬）	△ 452,314
うち想定原価と実績費用との乖離額	334,456

第２表

超過利潤累積額管理表

事業者名　　仙台市ガス局

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

（単位：千円）

項　目	金　額	備　考
前期超過利潤累積額（又は前期欠損累積額）　（①） （うち前期乖離額累積額）（⑦）	△ 2,587,224 (1,764,985)	
当期超過利潤額（又は当期欠損額）　（②） （うち想定原価と実績費用との乖離額）（⑧）	△ 452,314 (334,456)	
還元額（③）	0	
当期超過利潤累積額（又は当期欠損累積額）　（④＝①＋②－③） （うち当期乖離額累積額）（⑨＝⑦＋⑧）	△ 3,039,538 (2,099,441)	
一定水準額（⑤）	2,424,453	
一定水準超過額（⑥＝④－⑤）	0	

（注）１．一定水準額は様式第２の託送資産明細書の本支管投資額実績表中「直近実績」の５年平均額を適用している。
　　２．一定水準超過額は、零を下回る場合にあっては零を記載している。

第３表

導管投資額明細表（一般ガス導管事業者）

事業者名　　仙台市ガス局

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

（単位：千円）

項　目	当期投資額	備　考
高　圧　導　管	0	
中　圧　導　管	916,922	舘熊野堂線外中圧管工事
計	916,922	

第４表

内部留保相当額管理表

事業者名　　仙台市ガス局

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

（単位：千円）

項　目	金　額	備　考
前期末内部留保相当額　（①）	△ 9,770,841	
当期超過利潤額（又は当期欠損額）　（②）	△ 452,314	
還元額　（③）	0	
当期導管投資額　（④）	916,922	
当期内部留保相当額　（⑤＝①＋②－③－④）	△ 11,140,077	還元義務額残高　：　0

第５表

乖離率計算書

事業者名　仙台市ガス局

項　目	値	備　考
想定原価（千円）（①）	28,670,060	
想定需要量（千m3）（②）	841,567	
想定単価（円／m3）（③＝①／②）	34.06	
実績費用（千円）（④）	28,038,456	
実績需要量（千m3）（⑤）	757,738	
実績単価（円／m3）（⑥＝④／⑤）	37.00	
乖離率（％）（⑥／③－１）×１００	8.64	

想定原価及び想定需要量は、平成29年4月から令和2年3月までの3年の合計とした。

実績費用及び実績需要量は、令和5年4月から令和8年3月までの3年の合計とした。

様式第４（第６条関係）

事業者の定める算定方法一覧表

事業者名　　仙台市ガス局

収益・費用・資産の項目	算定方法	算定方法を定める理由
（本支管投資額実績表）	平成28年度以前の実績は、「輸送導管」「本支管（輸送導管以外）」の区分で記載している。	平成28年度以前の本支管投資額実績表において、左記の区分で整理しているため。
（導管投資額明細表）	導管投資額明細表には工事負担金圧縮後の投資額を記載している。	導管投資額については、内部留保相当額から控除するものとした制度の趣旨に基づいて算定することが合理的であるため。
（一般管理費の機能別原価への配分基準）	一般管理費は、機能別原価金額比によって従量原価を除く機能別原価項目へ配賦する。	固定費の一部である一般管理費をその実態に応じて固定的に回収する観点から、機能別原価金額比により配賦する配賦対象を従量原価を除く機能別原価項目とする。
（資産） 設備勘定（有形）	建物、構築物、車両運搬具、工具器具備品、リース資産について、人員比で配賦する。	託送供給約款料金原価等算定において、左記の配賦方法を用いて整理しており、託送収支計算においても同様の方法により整理することが適当であるため。
（資産） 建設仮勘定	建物、構築物、工具器具備品について、人員比で配賦する。	託送供給約款料金原価等算定において、左記の配賦方法を用いて整理しており、託送収支計算においても同様の方法により整理することが適当であるため。